

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 西川豊長
幹事 中山信夫
会報委員長 西尾正巳

No. 39

築け未来を 行動力と先見の眼で

BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION

1996~97年度 RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

きょうの例会

第712回 平成9年5月20日(火)

講演 “東山植物園におけるゲンジボタルの
人工飼育について”

名古屋市東山総合公園事務局植物園
緑地造園係長 丹橋 和時氏

(紹介 魚津君)

先週の記録

第711回 平成9年5月13日(火)曇/雨

◇ “我等の生業”

◇ お誕生日祝福

小山君 (5/15)

◇ 出席報告

会員 67(66)名 出席 46名

出席率 69.70%

前々回 4月22日(修正出席率) 100%

◇ ビジター紹介 3名

◇ ゲスト紹介

名古屋短期大学付属高等学校 IAC

顧問 河合 保昌先生

◇ ニコボックス

浅井 誠寿君

新茶汲むや いのちとはかく香ぐはしき

加藤 大豊君 県環境部対策課 藤井敏夫さんをお迎えして

菊池 昭元君 早退します。

松居 敬二君 娘夫婦がイタリアから孫のジョエル君を連れて一時帰国しました。2ヶ月滞在するとの事、毎朝、毎晩が楽しみです。早産だったジョエル君も見違える程大きく、健康に育っています。

ただ、ただ感謝の気持ちでいっぱいです。

魚津 常義君 カツオが美味しくなりました。県環境部対策課 藤井敏夫さんをお迎えして。

二村 聡君、林 哲央君、石黒 正則君、

伊豫田博明君、釜谷 健一君、河村 政孝君、小坂井盛雄君、久野 峯一君、宮尾 紘司君、水野 民也君、永井 正義君、中根 三郎君、西尾 正巳君、大谷 和雄君、尾関 武弘君、佐野 寛君、笹野 義春君、鈴木 正男君、鈴木 理之君、田中 昭二君、舎人 経昭君、和田 正敏君、渡辺 辰夫君、吉田 節美君、吉田 玄君 カツオが美味しくなりました。小山 雅弘君 誕生日日祝い

◇ 鈴木(理) 副幹事報告

1. ロータリー適用相場 現在1ドル119円が6月1日より126円に変更されますのでお知らせ致します。

2. 次回例会終了後現在・次年度クラブアセンブリーを開催致しますので、担当の方はお残り下さい。

3. 次年度各委員会委員長は次年度クラブ計画書の原稿依頼をお帰りにお持ち下さい。

◇ 名短付高 IAC 年間報告

顧問 河合 保昌先生



お手元にあります小冊子を昨年に引き続き作成しました。昨年はいろんな事に挑戦して、その活動が認められ愛知県知事賞を頂いたり、インターネットで紹介して頂いたりしました。皆様のご援助で3年目に突入して、今年に組織をだいぶ変更しました。今までは会長、副会長が引っぱってききましたが、ロータリーの真似をし、各委員会を作り、その中で話し合い活動する様にしました。どうなるかわかりま

せんが、実力があり、社会に出て役立つ人間を育てていきたいと思っています。ロータリーの方々には資金面で援助をお願いしなくてはいいませんが、ぜひこの小冊子を読んで頂き、活動をご理解の上、ご協力をお願いしたいと思っています。本日は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

◇青山副会長挨拶

初夏の候、日々汗ばむ頃となりました。潮干狩りも盛んとなり、水の季節がやってまいりました。今日は水に因んだお話を致します。

先ず大阪の淀川には観光船が走っており、ただそれだけでは話題になりませんが、その観光船の天井が通過する橋の高さに応じて一米程上下調整して運行されております。一度機会があればお乗りになって涼味を感じてみてはいかがでしょうか。

名古屋市内は川でなく運河が中心部を流れておりますが、自然の川でないため、川幅も狭く古代の物資輸送が目的であった様です。

又、東京の隅田川は別名両国とも呼ばれ花火で有名ですが、両国とは江戸時代武蔵の国と下総の国の両方を結んでいたため両方の国として両国と呼ばれていたようです。

外国でも独国のライン川も昔は自分の領地を通過する船から料金を徴収していた様です。そのため川岸に城が多数残っており、なかには中州に城を持っていた領主もありました。

多くの川は自然の恵みとして古来より生活のために大量輸送の手段として利用され、それが文化の発達と共に汽車から航空機に変わり、今では毎日花、野菜を始めうなぎの雅魚、食肉、繊維類に至る大量の商品が世界を廻っております。やがて宇宙で人が暮らす時代（アポロ計画）が来れば、同じ様なことになるかと思われます。人間の知恵は限りなく発展すると共に進化して行くのではないのでしょうか。

----- 環境保全月間に因み -----

“環境保全について”

愛知県環境部 環境対策課 課長補佐
藤井 敏夫氏 (紹介 魚津君)



「環境めがね」をかけると、今の社会がどう見えるのか、また、どのような取組が必要か

について、お話をしたい。

これからの環境保全の基本的な視点として、地球レベルの環境汚染の防止対策がある。とりわけ、本年12月には地球温暖化防止に向けた国際会議(COP3)が京都であり、日本はホスト国として、世界の理解が得られるCO₂削減対策の積極的な提案が求められており、本格的な取組が始まろうとしている。

このような地球規模での環境汚染をもたらしているのは、先進国における大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムであり、21世紀に向けた新たな社会システムの構築が必要である。例えば、今の都市全体の建物や社会基盤は将来的には廃棄物になるものであり、これを処理するという考え方では社会がパンクする。

早大の永田先生は、買ったときから徐々に良くなる「成長する商品」という考え方を提案しておられるが1つのヒントになろう。

したがって、これからめざす社会は、循環型社会であり、また、自然とうまくやっていける共生型社会である。共生型社会については、国際博覧会のなかでそのありかたについて世界に情報発信すべき重要なテーマでもあり、この具体化に向けた知恵が求められている。

また、環境に育まれた文化の継承も環境の保全の保全と一体となった取組みである。さらに、環境の保全の取組を自立しつつ協働して進めることも重要である。

県としては第一歩として、消費者・事業者の立場からの環境に配慮した商品の購入などの率先行動を導入するつもりである。事業者におかれては、国際環境規格であるISO14000に代表される事業活動全体への環境配慮や環境を守る技術の開発普及が期待されている。県民には、家庭、地域、職場において幅広い環境配慮行動の着実な展開が期待されている。

配布させていただいた資料も含め、オピニオンリーダーであり、未来社会づくりのプロモーターでもあるロータリークラブの皆様方のご参考になれば幸いである。

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋東南RC 5/29(木)530運動青空例会の為、大高緑地公園「友愛の庭」にて11時より
- 名古屋港RC 5/30(金)第2回IDMの為、5/31(土)名古屋港にて
- あまRC 6/2(月)例会場都合の為、名鉄ニューグランドホテルにて
- 名古屋名南RC 6/3(火)ホテルの都合の為、名鉄ニューグランドホテルにて

◇次回例会(5月27日) 地区協議会報告